

見学 × 体験「敷瓦とお茶席」

お寺などの床を覆っていた「敷瓦」は、いつの頃からか、茶道具としても使われるようになりました。後には一部の下地を見せて織部釉をかけたり、軽妙な筆遣いで花や虫を描いたり、側面に押し型で模様をつけたりと、建材とは異なる装飾性を帯びていきます。

モザイクタイルミュージアムの「敷瓦の世界」展を見学した後、市之倉の幸兵衛窯に移動し、実際に敷瓦を用いたお茶席を体験します。タイルの前身と言われる「敷瓦」、その日本ならではの展開を感じてみませんか。

- 講師 加藤亮太郎（作家、幸兵衛窯八代目）
- 開催日時 平成30年8月18日（土）
13:30～16:30
- 集合 多治見市モザイクタイルミュージアム
- 概要

モザイクタイルミュージアム
特別展「敷瓦の世界」を観覧



幸兵衛窯
お茶席体験と見学



モザイクタイルミュージアム

- 対象 中学生以上
- 定員 15名（先着順）
- 参加費 1,000円（2館の観覧料を含む）

◆お申込方法◆

下記メールまたはFAXにて、①お名前、②人数、
③ご連絡先をお知らせください。

後日、担当から持ち物などご連絡いたします。

メール：info@mosaictile-museum.jp

FAX：0572-43-5114

幸兵衛窯 加藤亮太郎 プロフィール

1974年 七代加藤幸兵衛の長男として生まれる

1997年 京都精華大学美術学部陶芸科卒

1999年 京都市立芸術大学大学院陶磁器専攻修了

2000年 家業の幸兵衛窯に入る

個展、グループ展など多数。

うぶすなの家、古川美術館、INAX ライブミュージアム等で茶会の席主などを務める。

